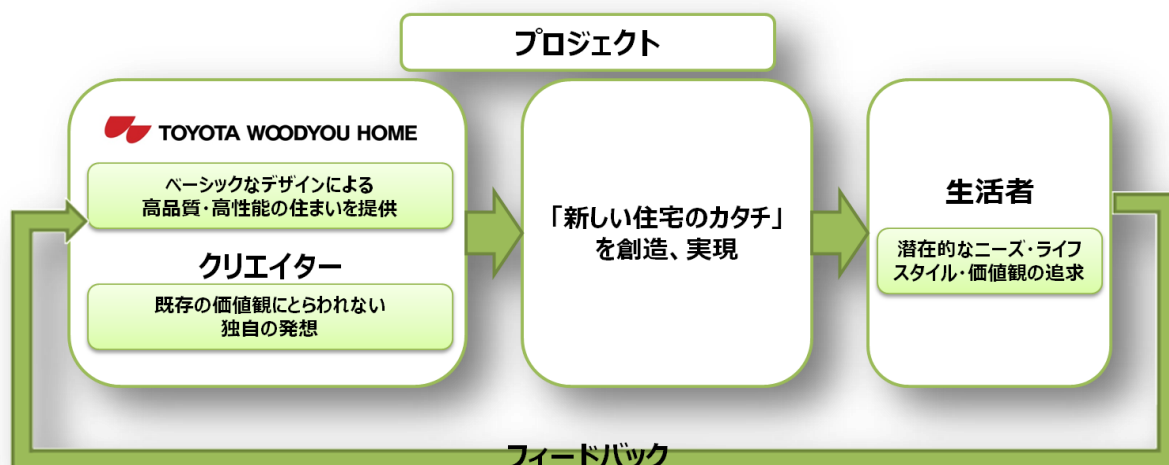


各 位

トヨタウッドユーホーム株式会社
代表取締役社長 石川 均「新しい住宅のカタチ・プロジェクト」の実施について

トヨタウッドユーホーム株式会社（本社：宇都宮市、代表取締役社長：石川 均）は、クリエイターとの「新しい住宅のカタチ・プロジェクト」を実施することとなりました。現在コロナ禍にあり、デジタル化が進む中で自宅に滞在する時間が長くなり、住宅に対する考え方にも変化が生じてきています。こうした社会変化に対応するため、クリエイター、そして生活者とのコラボレーションによるプロジェクトを展開していきます。トヨタウッドユーホームは、企業や組織内にとらわれず、広く社会全体を一つとして捉え、インクルージョンを目指した取り組みを展開し、今後も当プロジェクトをさらに進化させていく所存です。



記

1. 経緯：

戦後から発展してきた住宅の概念が変わる時代、住宅に求められるものが刻一刻と変化しています。人口減少、少子高齢化社会が抱える社会問題に加え、予測できない自然災害や目に見えないウイルスによる感染症と多くの課題を抱えています。生活総合産業である弊社は、既存の価値観にとらわれない、発想豊かなデザインを取り入れることが必要だと考えています。これまでベーシックなデザインによる高品質・高性能の住まいを提供していますが、ここに新たなテイストや表情を添え、クリエイション面でのメリットを持たせようと考えています。住まいづくりにおいて、ライフスタイルや個性の反映が重視される要素となっています。

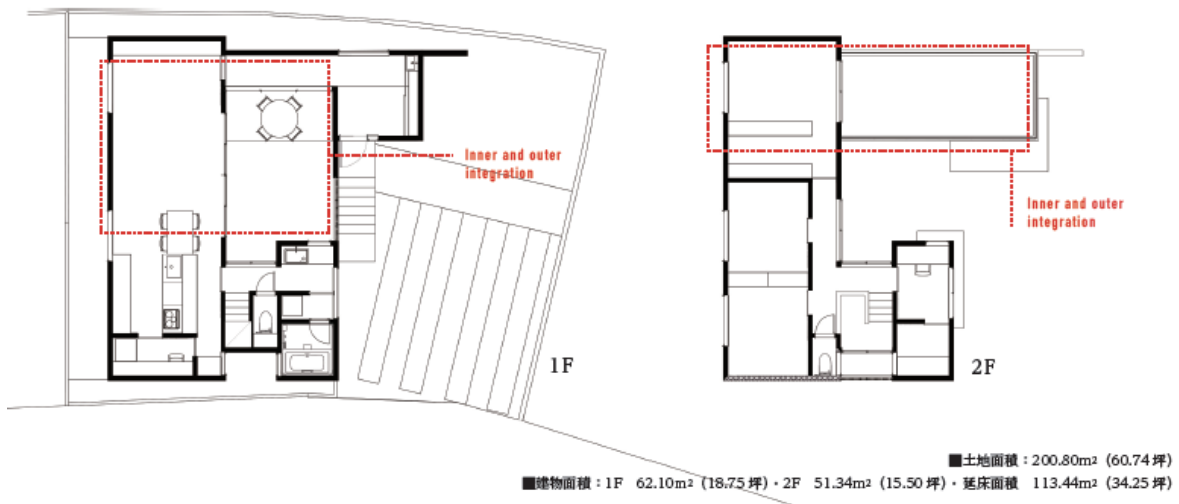
老夫婦のみの世帯、高齢者と孫の同居世帯などコロナ禍における家庭内の問題解消等に向け、様々な分野のクリエイターと継続的にプロジェクトに取り組みます。新たな発想による「新しい住宅のカタチ」の可能性を追求することで、潜在的なニーズを吸収し、お客さまが無意識的に期待していた商品を実現していきたいと考えます。

2. 「自由設計モニター」企画：

今回、第1弾として、建築家とのコラボレーションを企画しました。外部の建築家十数名に対し、設計コンペ形式によるデザイン応募を行い、最終的に4名の設計士を選考。今回、この設計士による「自由設計モニター」企画を以下の通り先行して開催します。また継続的にコラボレーション建築家によるデザイン企画を発表してまいります。



- (1) 対象分譲地 : 鶴田ヒルズ (宇都宮市鶴田町)
- (2) 対象区画 : No.19 (200.80 m²/60.74 坪)
- (3) 内容 : コラボレーション建築家による自由設計
- (4) 担当設計士 : 長谷川拓也 氏 (長谷川拓也建築デザイン 代表)
- (5) 今回のプラン例



■プランコンセプト：～愉しむ暮らしへ。内と外の一体化～

今回のコロナ禍においては、サードプレイスと呼ばれる空間が閉鎖され、狭小空間での生活が余儀なくされたことから、様々な問題も生じました。こうした背景を考慮し、自宅でも快適空間を過ごしてもらおうと、リビングの大開口部が庭と一体としてつながり光と風を呼び込むテラスで気持ちよさを存分に感じ取れる配置となっています。またルーバーを配し、強い日差しや天候を気にすることなく過ごすことができます。2階には、丘上の利点を最大限に享受する広々とした天空のテラス。テラスにテントを張り、自宅でのキャンプも存分に楽しめます。またテレワークにも対応できるようワークスペースを設けています。

3. 主要ターゲット：自分だけの個性的な住まいを追求する方

4. 問合せ先：トヨタウッドユーホーム株式会社 経営企画部 担当 堀江則行・安西剛之

TEL：028-627-3531 / FAX：028-624-5144

E-mail：mpo@toyota-woodyou.co.jp

以 上